

大隈財政と松方財政

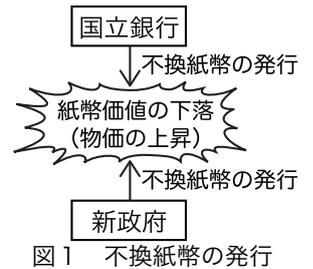
国立銀行条例の改正と西南戦争の戦費捻出で、日本国内の不換紙幣は増加を続けた。貴金属を含むことで価値を裏付けられた金貨や銀貨とは違って、不換紙幣は大量発行に伴って信用を失い、額面の価値で扱われなくなった。新政府は、金貨・銀貨1円と紙幣1円の価値を均衡させ、兌換可能にすることに挑んだ。

○政府の課題と大隈財政

●政府の2つの課題

1870年代後半、日本国内では次の問題が生じていた。

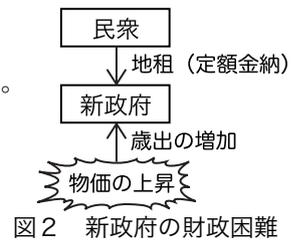
- Ⓐ1866年頃からの輸入超過で、日本の正貨が国外に流出し、保有量が枯渇寸前
- Ⓑ1876年の⁽¹⁾ _____ 改正で、華族・士族が国立銀行を次々と開業し、不換紙幣の銀行券を大量に発行（紙幣価値の下落＝物価の上昇）
- Ⓒ1877年の⁽²⁾ _____ の戦費捻出に、不換紙幣を大量に発行
- ◇正貨…素材価値と額面価値が等しい貨幣（例：1円金貨・1円銀貨）



<政府の課題①—歳入の増加>

新政府は、定額金納の地租を主な歳入としたため、毎年の歳入の増減がほぼなかった。

⇒ⒷⒸの結果、物価が上昇し、歳入の増減がない新政府は財政困難に陥った。



何らかの方法で、歳入を増加させる必要がある。

<政府の課題②—兌換の再挑戦>

ⒷⒸの結果、紙幣価値が下落し、正貨の価値と紙幣の額面の価値が不均衡になった。

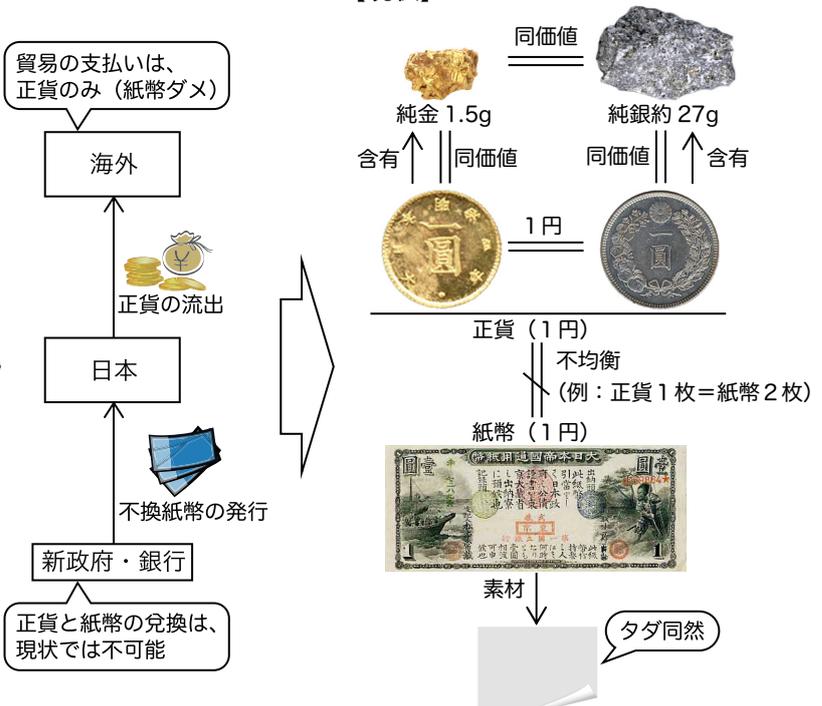
不換紙幣を処分して、正貨と紙幣の価値の差を減らし、正貨の蓄積にも努める。

⇒金銀（ここでいう正貨）と紙幣の引換え（兌換）の義務化に、再度挑戦する。

【理想】



【現状】



●大隈財政と政変による挫折

1880年、大蔵卿⁽³⁾ _____ は、次の政策で歳入の増加を図った。

①工場払下げ概則公布

…損失の多い一部の官営工場の払下げを認めた規則

②酒造税などの増税

⇒1881年の⁽⁴⁾ _____ で(3)が新政府から追放され、政策は中断した。

◇工場払下げ概則…払下げは、厳しい条件で実現が少なく、1884年の廃止後に本格化

…1881年の開拓使官有物払下げ事件は、この規則を無視して違法



図4 大隈重信

○松方財政

●松方財政と銀本位の兌換制度

1881年、大蔵卿となった⁽⁵⁾ _____ は、次の政策にまず取り組んだ。

①歳入の増加：増税や新税の新設

②歳出の緊縮：軍事費を除く行政費の削減

③歳入の余剰で、不換紙幣の処分（紙幣価値の上昇）と正貨の蓄積（兌換の準備）



1883年、国立銀行条例再度改正

…国立銀行から銀行券の発行権を取り上げて、その役割を「普通銀行」に転換

…結果、1882年設立の⁽⁶⁾ _____ が、国内唯一の発行権をもつ「中央銀行」



1885年、銀貨の価値と紙幣の額面の価値に、差がほとんどなくなった。

→同年、日本銀行は銀兌換の銀行券を発行し、翌年、政府紙幣の銀兌換も開始した。

⇒貨幣への信用を「銀」の希少価値で支える貨幣制度⁽⁷⁾ _____、

これに基づく兌換制度⁽⁸⁾ _____ がここに確立された。

◇(8) …国際的には金本位制が主流であったが、日本は金保有量が少なくて断念



図5 松方正義

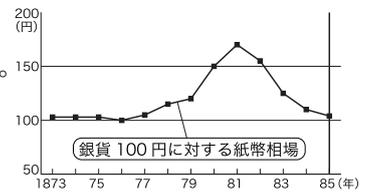


図6 紙幣相場

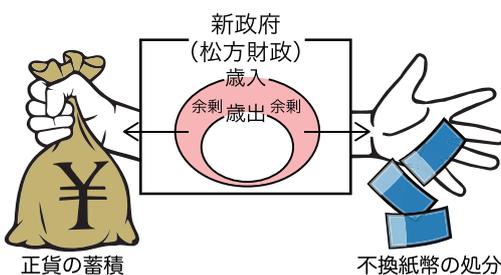


図7 松方財政

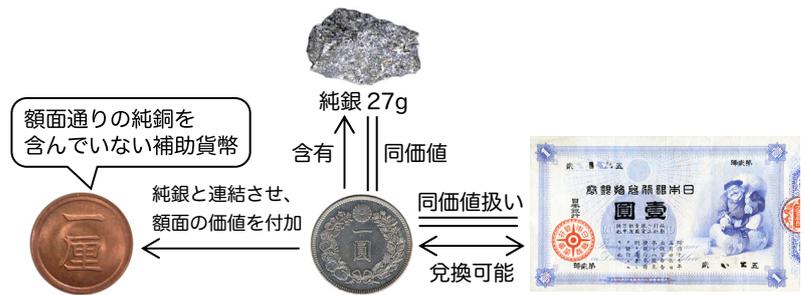


図8 銀本位制 (左：1厘銅貨/中：1円銀貨/右：1円日本銀行券)

●松方財政の影響

松方財政の緊縮や紙幣価値の上昇で、米・生糸・繭^{まゆ}などの価格が暴落した。

→ここに増税が加わり、農村には次の影響が見られた (No. 110の図5・6を参考)。

①自作農：市場での換金が難しく、地租に苦しみ、土地を手放して⁽⁹⁾ _____ に転落

②地主：貸金業や酒屋などを経営することで、現金を調達して地租を納め、

所有地の一部を耕作するほか、小作農に貸つけて高率の現物小作料を取り立て

③小作農：地主が取り立てる現物納の小作料で窮乏

⇒1890年代、地主が耕作から離れ、小作料に依存する⁽¹⁰⁾ _____ となっていた。